

期間 28年 6月2日[木]～6月30日[木](全5回)

応募締切 5月19日[木]

実施場所 九州国際大学地域連携センター (サテライト・キャンパス)

〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階 (34ページ地図参照)

申込問合せ先 九州国際大学地域連携センター

〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階 TEL: 631-2203 FAX: 631-2204

時間 19:00～21:00

定員 30名

受講料 4,000円

講座概要

実施機関: 九州国際大学地域連携センター

北九州には世界遺産に登録された八幡製鐵所を中心に各種の産業が栄えてきました。これら産業はひとを集め、独自の町並みを形成しながら工業地帯特有の景観を今もなお作り続けています。

本講座では、「産業が作り出す景観」をキーワードにして、よっつの視点からまちの魅力の原点にある産業とその変遷について、北九州内外の事例を駆使して紹介していきたいと考えます。

月 日	テーマ・内容	担当講師
6月2日 (木)	景観とは何か、歴史が作り出す町並みとは？ 景観に対する見方の変化、小樽・国立・鞆の浦から景観法の制定まで	九州国際大学 非常勤講師 九州大学百年史編集室 助教 市原 猛志
6月9日 (木)	焼き物と窯業が作り出す町並み 焼き物の伝来と小鹿田・小石原、近代の筑豊、製鉄関連の窯業景観	
6月16日 (木)	炭鉱町と石炭産業が作り出す町並み 石炭の発見と活用から北海道・常磐・筑豊、北九州西部他の景観	
6月23日 (木)	製鉄業と八幡の都市計画が作り出す町並み 製鉄産業の立地と八幡、都市計画法施行以降に成り立っていった関連産業と景観形成	
6月30日 (木)	近代港湾と物流産業が作り出す町並み 北前船の時代から近代、門司港と若松港、ひびきコンテナターミナルに続く港湾の発展	